

連携提案:「生活文化」の視点から考える子どもの育ちと子育て

キーワード: 幼児, 生活文化, 家族, 地域, 子育て・育ち

自然・生活教育 学系 教授

吉澤 千夏 YOSHIZAWA Chinatsu

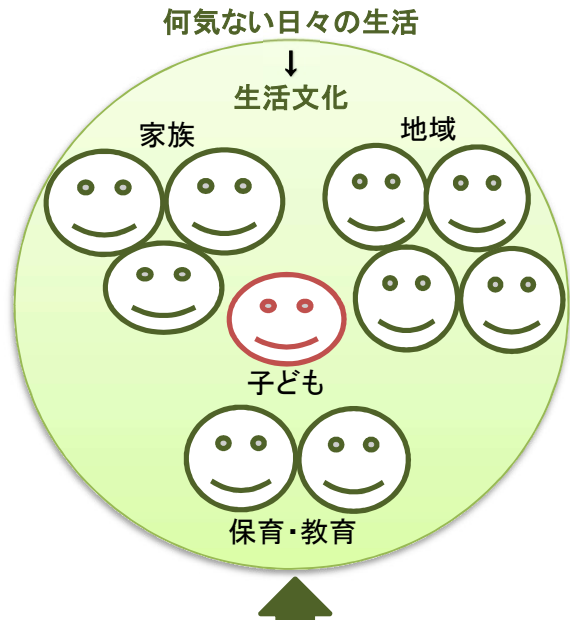
連携提案内容と効果

今、子どもたちの育ちと生活については、その危機が叫ばれたり、様々な視点からの問題提起等が行われており、多くの関心を集めているところです。

では、実際の子どもたちはどのように日々の生活を送り、育っていくのでしょうか？私はこれまで、多くの子どもたちとその家族の日常生活や遊び場面の観察を通して、子どもたちの育ちを「生活文化の伝承・獲得・共有」の視点から明らかにしてきました。

何気ない日々の生活の中で、子どもたちは人として豊かに生きていくための様々な力＝「生活文化」を獲得していきます。この「何気ない日々の生活」という点にスポットを当て、子どもの育ち行く姿とそれにかかわる家族や保育者・教師、地域の人たちの役割について考えていきます。

これからの社会を担っていく子どもたちの育ちについて、「生活」の視点から丁寧にアプローチしようとする産学官連携は、子どもの育ちをトータルにサポートしていくための一助となるだけでなく、様々な人にとって生活しやすい社会の実現につながっていきます。



産学官連携により、様々な角度から「生活文化」

アピールポイント

講演活動, 研究会等におけるアドバイザー, 保育現場の観察・助言, 家庭訪問・観察・助言等, 「子どもとその育ちを支える人」をサポートします。

連携したい分野

保育や教育を「生活」の視点から考えてみたい
 保育所・幼稚園・学校等
 子どもを「生活」の視点から問い直してみたい自治体
 子どもの「生活」を様々な角度から捉えなおし、
 社会で生かしていこうとしている企業

研究テーマ: 幼児の生活文化の伝承・獲得・共有の

プロフィール 栃木県出身。平成22年4月より上越教育大。平成23年, (一社)日本家政学会奨励賞受賞。平成25年の4年間, (一社)日本家政学会編集委員を務める。	専門分野 児童学・保育学
関連URL	主な研究内容 1) 幼児期のままごと遊びにみる生活文化の伝承・獲得・共有過程 2) 幼児の食事場面における生活文化の共有過程

関連する業績等

『児童学事典』(日本家政学会編(共同編集者, 丸善出版株式会社 2016年1月)
 「幼児の食事行為の獲得と社会化 3歳児クラスの給食スキプトの獲得と保育者のことばかけ(2)」(共著, 日本発達心理学会大会: 口頭発表, 2019年)
 「幼児の食事場面における生活文化の共有過程に関する実証的研究(文部科学省: 科学研究費補助金(基盤研究 ©: 研究代表者, 2014~2017)
 「幼児期のままごと遊びにみる生活文化の共有過程に関する縦断的研究(文部科学省: 科学研究費補助金(若手研究(B): 研究代表者, 2007~2009年)
 「母子のままごと遊びにおける食のスキプトに関する縦断的研究(博士論文)」(2005年3月)

お問い合わせは、吉澤研究室 chinatsu@juen.ac.jp